



今回の郷土料理♪

＜沖縄県＞
 ゴーヤチャンプル
 ソーキそば
 にんじんしりしり



＜山形県＞
 芋煮
 山形のだし

＜三重県＞
 味噌焼きうどん
 うまい菜の煮浸し
 ガラガラおろし



訪問歯科でお世話になっています

【しまの歯科クリニック】

介護職員は、ご利用者の食事が減っているな、飲み込みにくくされているなど感じたなら、歯の調子や入れ歯が合っていないのではないかと？口内炎などが出来ていて痛みがあるから食べられないのではないかと？と、口腔内に注目します。

もしも虫歯や歯槽膿漏で歯がグラグラしていたり、入れ歯が合わない時は、ご家族に連絡し、歯科受診をお勧めしています。

ご入居前に掛かっていた歯科医院に通院される方もおられますが、施設には、週1回訪問診療して下さる歯科の先生や歯科衛生士さんがいらっしゃいます。

虫歯の治療、抜歯、入れ歯の調整や新しく作り直すなど、外に行かなくてもほとんどの治療を施設内で受けていただくことができます。そして、飲み込みが悪い方の嚥下状態を診ていただき、食事の形態や介助方法も指導していただいています。

また、歯科衛生士さんによる口腔ケアも、普段のケアだけでは不十分なところまできれいにさせていただきます、ご利用者のお口の健康に一役買っていたいただいています。



【島野歯科クリニック】

生駒市西白庭台2丁目-20-4

☎0743-71-2860

休 木・日





イベント報告 本館3階



本館3階では、5月9日に母の日レクを行いました。

昼食に、ホットプレートを使い、職員がご利用者の前で焼きそばを作りました。フロア中にソースの匂いが充満し、「美味しそうー」「いい匂いがするー」と言われ、おかわりをされる方も多く、笑顔もたくさん見られました。

午後からは、メッセーシカードとヘアブラシとケースをプレゼントし、メッセーシボードの前で記念写真を撮りました。

笑顔がたくさん見られる、楽しい思い出となる母の日になりました。



イベント報告 別館2階



4月のレクリエーションでは、車でドライブをし、車窓から富雄川沿いの桜を見て頂きました。

ご利用者の皆様は「綺麗！」と言われ、久しぶりの外出に喜んでおられました。新型コロナウイルス感染症が流行している中で、なかなか外出できない状況ではありますが、皆様に気分転換をして頂けました。

5月は、紙相撲大会を行いました。昔懐かしい遊びだったのか、普段レクリエーションに参加されない方も、楽しそうにされていました。

勝負に負けても、「もう一回！」と仰る方もおられました。始めは職員が行司をしていましたが、途中よりご利用者と交代し、盛り上がりました。



優勝
しました！



本館 2階 アリエスタ

最初に働きはじめた時は緊張しましたが、今は先輩方やご利用者の皆様と関わる時を楽しみにしています。介護の仕事は難しいですが、いつも頑張りたいと思います。



本館 3階 リン

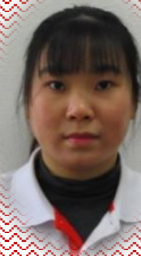
流れるように過ぎていく日々の中で、そこに住んでいるご利用者の皆様に幸せに感じてもらうことを意識して頑張ります。



新人職員紹介

本館 4階 ホン

介護職として働く上で心掛けてきたのは笑顔です。たくさん笑顔を出してくれるように毎日頑張ります。



別館 2階 チャン

ご利用者の皆様が日々安心して快適な生活を送っていただけるように努力していきたいと思ひます。



デイサービス

春から夏は毎年あつという間に過ぎていくような気がします。ご利用者の皆様との会話の中で「いつ春から夏に変わるのか?」という話題で盛り上がりました。「6月はもう春とは言わんな」「そりゃ梅雨明けでしょ」「など色々な意見が飛び交う中、「季節の変わり目は虫の鳴き声や植物が教えてくれる。」の一言に納得の職員一同でした。「ご利用者の皆様各々の季節の感じ方や楽しみ方に触れさせて頂くという事も介護職員としての醍醐味かと思ひます。

それでは、デイサービスでの4月から6月の活動や取り組みをお伝えいたします。

サザンカの飾り作りでは、お花紙を丁寧に広げていき、出来上がりが近づいてくると「これは綺麗ですなあ。これ壁に飾ったら綺麗やろうなあ。」と笑顔で作品を眺めておられました。

ゲームレクでは大盛こはんゲームと題して、お手玉を使用して、お皿に盛れた量を競うゲームで男性のご利用者は手が大きく、腕をまくって「もっとなつかめる」と思ったけどなあ。」と悔しがり、熱中して取り組まれる様子が窺えました。

これからもご利用者の皆様に楽しんでいただけるレクリエーションを考えていきたいと思ひます。





小綬鶏



【コロナ3年目をむかえて】

新型コロナウイルスの感染が初めてニュースが出たのが2019年と、既に3年目となりました。

面会方法も、直接居室でお会いしていたのが、窓越しやWEB面会へと変わり、施設の取り組みとしては、外出や買い物、施設の全体行事が縮小、又は中止となり、ご利用者の皆様には我慢をして頂く日々が続いています。

ワクチン接種も4回目の通知が徐々に届き、次回は8月中旬以降になる予定です。

全国的に行動制限が解除になりつつありますが、介護施設は、外部からの感染でクラスターになる可能性も高く、行動制限解除には慎重な判断が必要になると思われます。

職員としても、家族内に感染者が出ると、濃厚接触者と診断され、仕事を休まざるを得なくなるなど、ご利用者の皆様や施設職員にも負担を強いることになり、大変心苦しく思います。

ご利用者への感染を防ぐことはもちろん、職員間でも感染を拡げないために、マスクの着用や手指消毒・検温の実施、介助の際はフェースシールドの着用やパーテーションを配置し、「持ち込まない」「拡げない」ように引き続き感染予防に努めて参ります。

介護施設の職員として、ご利用者の皆様が施設で安心して過ごしていただけるよう、ウイルスに負けない健康な身体作りをして、毎日の業務に笑顔で真剣に取り組みたいと思います。



夏の介護の注意点

〜夏本番！ 介護に注意する10〜

「脱水」「熱中症」に注意

ただでさえ脳梗塞を起こしやすいといわれるこの時期。体が脱水状態になると血管が詰まりやすくなるため、さらにそのリスクは上がります。

特に脱水になりやすい高齢者には、1日1.5Lを目安に積極的に水分をとってもらいましょう。

普段はお茶や白湯など、その方が好まれるものでかまいません。ですが、「わきの下が乾いている」「口の中や唇が乾燥している」「腕の皮膚を持ち上げて放すとシワができたまま」は危険信号です。経口補水液の摂取や、医療機関の受診を考えてください。

「蒸れ」「かぶれ」に注意

梅雨から夏の高温多湿の環境で起こりやすいので、蒸れから始まるおむつかぶれに要注意です。

おむつ交換をまめに行うのはもちろん基本ですが、頻繁に行うのが難しい場合は、ある程度排せつ頻度を把握しておくことよいでしょう。

そして入浴ができない場合は、1日1回の洗浄を。便に潜む細菌が増殖することもありますので、皮膚のしわなど細かい部分まで丁寧に洗ってください。

